

製品安全データシート

製造者情報

会 社：柳瀬株式会社

住 所：兵庫県丹波市山南町谷川 1 3 8 5 番地

電話番号：0 7 9 5 (7 7) 2 1 5 1

F A X 番号：0 7 9 5 (7 7) 2 5 3 5

作成・改訂：平成 21 年 2 月 2 日

整理番号：M S D S - X 0 0 6

製品番号 Y H K - 5 1

製品名（化学名・商品名等） 液体研磨剤 アルミ用		
物質の特定	単一製品・混合物の 区別	混合物 リキッド状
	化 学 名	酸化アルミニウム（アルミニウムオキサイド）
		モノカルボン酸（脂肪酸）
	成 分	
	含有量	
	酸化アルミニウム	
	4 7 . 1 %	
	植物性油脂・動物性油脂	
	1 8 . 5 %	
	水分・乳化剤・安定剤	
	3 4 . 0 %	
	白色顔料	
	0 . 4 %	
	化学式又は構造式	-AL ₂ O ₃ ・CH ₃ (CH ₂) CH ₂ COOH H ₂ O
	官報公示整理番号	
化審法・安衛法	酸化アルミニウム 1-23	
	モノカルボン酸 2-608	
化学物質管理促進法 （P T R T 法）	第一種指定化学物質	該当しない
	第二種指定化学物質	該当しない
C A S 番号	酸化アルミニウム	No.1344-28-1
	モノカルボン酸	No.544-63-8 , 57-10-3 , 57-11-4
	乳化剤	No.102-71-6
	安定剤	No.11138-66-2
国連分類及び国連番号	分類基準に該当しない。	
	国連分類の定義上、危険物に該当しない。	

危険有害性の分類	分類名称	分類基準に該当しない
	危険性	消防法上、可燃性固体類に該当する物質を 18.5%含有する。
	有害性	酸化アルミニウムについては、米国 OHSA、ACGIH では物質的刺激性を有する他の化合物と同様の許容濃度(TLV)を設定している。 モノカルボン酸については、天然油脂類であるので有害性なしと判断される物質である。
	環境影響	酸化アルミニウムについては微粒子ゆえ、排水に多量混入すると水質汚濁の可能性がある。 モノカルボン酸については分解良好と判断される物質である。
応急処置	目に入った場合	目をこすったりしない。柔らかい布又は紙で異物を取り除き、その後水で洗眼し、必要な場合は医師の診断を受ける。
	皮膚に付着した場合	石鹸で洗う。
	吸入した場合	加熱使用時に蒸気を吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、必要な場合は医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	口の中をすすぐ。大量の場合は吐き出させ、必要な場合は医師の診断を受ける。
火災時の措置	消火方法	風上から消火剤を火元へ放射する。
	消火剤	粉末・炭酸ガス・泡・砂など
露出時の措置	少量の場合	火気がある場合はすみやかに取り除き、引火を防ぐ。 ウエスで拭き取る。又は掃き集めて回収する。
	多量の場合	溶解時は土砂等で流出拡大防止を図り、冷却・固化後、拭き集めて回収する。
取扱い及び 保管上の注意	取扱い	炎・火花もしくは高温体との接近を避ける。 労働安全衛生法第 577 条にあるように、法は粉塵を発生させる作業場を有害な作業場と認識し、粉塵の発生抑制のための作業の方法または機械の改善等必要な処置を講じることが事業者に原則的に義務付けている。
	保 管	火気・熱源より遠ざけるとともに直射日光を避けて保管する。 水漏れ、破損せぬように注意する。

暴露防止措置	管理濃度	酸化アルミニウムについて	設定なし
		モノカルボン酸について	該当せず
	許容濃度	酸化アルミニウムについて ACGIH 米国産業衛生監督官会議勧告(1992 年度版) TLV-TWA 10mgCr / m ³ モノカルボン酸について 該当せず	
	設備対策	粉塵の発生がある時、又は加熱使用時には作業場の空気を汚染しないように局所排気装置、密閉化、または全体換気を適正に行うことが必要である。	
	保護具	通常の作業では不要であるが、必要な場合は次の物の着用が好ましい。	
		呼吸用保護具	簡易防塵マスク・布マスク
		保護眼鏡	ゴーグル型が好ましい
		保護手袋	ゴム手袋・軍手
		保護衣	ゴム前掛・布前掛
物理 / 化学的性質	外観等	白色リキッド状	
	沸点	180 ~ 230	
	溶解性	水に可溶	
危険性情報	引火点	203	
	可燃性	天然油脂 18.5%含有により可燃性。 消防法：可燃性固体類	
	発火性 (自然発火性、水との反応性)	なし	
	酸化性	なし	
	自己反応性・爆発性	なし	
	粉塵爆発性	なし	
	安定性・反応性	苛性ソーダ・苛性カリ等のアルカリ類と反応して塩を精製するが危険性はない。	
有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)	皮膚腐食性	なし	
	刺激性(皮膚・眼)	皮膚刺激性なし	
		眼刺激性温和(カチオン性酸 75mg 投与)	
	急性毒性 (50%致死量等を含む)	酸化アルミニウム > 5000mg / kg (oral-rat) モノカルボン酸 LD ₅₀ 23mg / kg (カチオン性酸マウス腹腔内投与)	
	亜急性毒性	データなし	

有害性情報	慢性毒性	なし
	がん発生	酸化アルミニウムについては OHSA、NTP、IARC 等の発癌性物質リストに記載例なし。
	変異原生 (微生物、染色体異常)	酸化アルミニウムについてはエームズ試験で変異を示さずとの文献記載あり。
	生殖毒性	データなし
	催奇形性	データなし
	その他	水と反応して有害なガスを発生する等もなく、通常の取り扱いで有害性はない。
環境影響情報	分解性	データなし
	蓄積性	データなし
	魚毒性	データなし
	その他	
廃棄上の注意	<p>取扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、一般的な注意事項による。焼却処理は焼却炉で少量ずつ焼却する。本品は燃焼すると、一酸化炭素・二酸化炭素（炭酸ガス）・炭化水素を発生する。酸化アルミニウムそのものの廃棄は、通常埋立て処分可。空容器に廃棄するときは内容物を完全に除去した後に処分する。本品に関する排水は活性汚泥等で処理できる。</p>	
輸送上の注意	<p>取扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、一般的な注意事項による。使用容器はダンボール箱、金属缶、ポリ容器等を使用する。</p> <p>輸送及び運搬は輸送中にお互いに衝突して破損する事のないように、しっかり固定した状態で行う。容器は水漏れ・破損・投げたりしないように注意する。消防法可燃性固体類に該当するため火気厳禁とする。</p>	
記載内容の取扱い	<p>記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基いて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。</p>	

以上